

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和元年9月10日
タイトル	学校のみんなで田植えをしたよ！2019
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和元年6月10日（月）福山市立金江小学校全児童109名が、金江小学校のすぐ近くの田んぼで田植えをしました。

金江小学校は水土里ネット福山の「南部工区」という地区にあり、昭和43年度から昭和45年度に当時の南部土地改良区が事業主体となり「ほ場整備事業」が施行された地域です。近年も排水機や揚水機の保全等土地改良事業を施行しており、小学校の農業体験も水土里ネット福山の組合員が積極的に取り組んでいます。

水土里ネット福山前総代の小川正光さんが管理するほ場で約300㎡をみんなで田植えをしました。すぐ近くの小学校から歩いて4年生が来て田んぼへ一番に入ります。泥の感触に初めは悲鳴のような声をあげながら田んぼの一番奥まで歩いて行きます。「はえ縄」の印にあわせて苗を植えていきます。最初は手に泥がつくことに戸惑っていましたが、一度植えると去年の田植えを思い出したようでドンドン植えました。もっと植えたいようでしたが、つぎの学年の植えるところがなくなるので渋々田んぼから上がりました。



地域や保護者の方と一緒に田植え！



苗の持ち方をしっかり伝授！

続いて3年生が田んぼに入り田植えをしました。3年生も慣れたもので上手に田植えをしました。続いて2年生が田植えです。昨年は1年生で6年生と一緒に植えたので自分達だけで植えるのは初めてです。小川さんが、苗を3本取るやり方や植える時、親指、人差し指、中指の3本で持って植え、土の中で親指を離すように教えておられました。元気一杯の2年生はしりもちをついたりして泥だらけになっていました。

続いて、1年生と6年生と一緒に田んぼに入ります。6年生は1年生の手をひき、ゆっくりと入っていました。1年生は歩くだけでも大変そうでしたが、6年生に教えられ植え方も上手になりました。6年生は1年生の面倒をしっかりとみてあげていて、昨年5年生で田植えをしていた時と比べて一段としっかりしていて一番年長という自覚があるんだなと思いました。

最後は5年生が田植えです。5年生は1年を通じて稲作に携わることになっていて、すでに籾蒔きをして苗を育苗していました。今年は例年より植える場所が多く残っていましたが田植えも慣れたものであつという間に終わりました。

今年も昨年同様、塩水選で浮かんだ籾と沈んだ籾を分けて籾蒔きし育苗した苗を植え成長に違いがでるか記録をするそうです。昨年よりもっと詳しく記録するため、苗が混じらないようにし最後の3列を浮かんだ籾から育てた苗を植えました。



田んぼから上がった子ども達は、近くの用水路で手足の泥を流して学校へ帰りました。「今日は特別に水路で足を洗ってもいいけど普段は絶対に入らないように。」と注意をしました。

田植えが終わると学校の校庭へ、手伝いに来られた地域や保護者の方と5年生が集まり、交流する場が設けられました。地域の方と話をし和気あいあいと微笑ましい場になりました。5年生はこれから稲の成長を観察していくそうです。



子ども達が手足の泥を落とした水路でも転落すると危険だということを認識してもらうよう転落防止の呼掛けのチラシと災害備蓄飲料水「福山の水」を配布しました。